



Auto-Tune

Realtime Access

もくじ

もくじ	2
Auto-Tune Realtime Access3の紹介	3
Auto-Tune Realtime Accessとは?	3
Auto-Tuneに適したオーディオのタイプ	3
クイックスタート	4
ステップ 1 - Auto-Tune Realtime Accessを起動	4
ステップ 2 - 正しいキーとスケールの選択	4
ステップ 3 - リチューンスピードの選択とヒューマナイズの設定	4
コントロール	5
キー&スケール	5
リチューンスピード	6
ヒューマナイズ	6
ピッチディスプレイ&ピッチチェンジメーター	6
キーボード	7
プリファレンスボタン	8
プリファレンス	9
Enable Auto-Key Detection (自動キー検出を有効にする)	9
Show Tooltips (ツールのヒントを表示する)	9
Choosy Tracking (トラッキングの選択)	9
Save as Default (デフォルトで保存)	10

Auto-Tune Realtime Accessの紹介



Auto-Tune Realtime Accessとは？

Auto-Tuneは、20年に渡りプロのピッチ補正の業界標準であり、ポピュラーミュージックの特徴的なボーカルエフェクトに最適なツールです。

Auto-Tune Realtime Accessにより、シンプルで著館的なインターフェイスを備えた同じテクノロジーをUADプラットフォーム上で使用できるようになったことを誇りに思います。

Auto-Tuneに適したオーディオのタイプ

Auto-Tuneは、モノフォニック・サウンドソース、または一度に一つのピッチを演奏するシングルボイスの楽器、十分にスプリットされたモノラルの音源を使用することを目的としています。ノイズ成分、ボーカルの極端なプレスに対しては、トラッキングエラーを起こす可能性があります。しかしこれは**トラッキング**パラメーターを調整することで解決できることがよくあります。

クイックスタート

Auto-Tune Realtime Accessのワークフローについて

ステップ1 – Auto-Tune Realtime Accessを起動する

DAWのオーディオトラックにAuto-TuneRealtimeAccessインサートします。最良のピッチ補正を行うには、シンガーが1人だけのボーカルトラックやコードや複数のピッチが鳴らないインストゥルメントトラックに使用してください。

UAオーディオインターフェイスでAuto-TuneRealtime Accessを使用している場合は、リアルタイムで追跡するときのレイテンシーを最小限に抑えるために、コンソールアプリケーションにインサートとしてロードしてください。

ステップ2 – 正しいキーとスケールの選択

キー&スケールパラメーターを音楽の実際のキーやスケールと一致するように設定してください。

楽曲のキーが分からない場合にはAuto-Keyプラグイン(別売)を使用して自動的に検出し、その情報をAuto-Tune Realtime Accessに送ることができます。

キーボードを使用して個々の音符のオンとオフを切り替えてスケールをカスタマイズすることも可能です。

ステップ3 – リチューンスピードの選択とヒューマナイズの設定

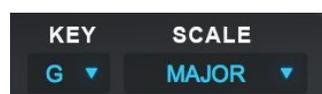
リチューンスピードを設定してAuto-Tune Realtime Accessがオーディオを目的のピッチにチューニングするスピードを決定します。わかりやすいAuto-Tune効果を得るには、リチューンスピードを高速(Fast)に設定してください。ナチュラルなピッチ補正を行うには、中速(Medium)、または低速(Slow)に設定してください。

持続音のよりナチュラルなピッチ補正については、Humanizeの値を上げてください。

コントロール



キー&スケール



キーとスケールパラメーターは、オーディオをチューニングするノートの設定を行うために使用します。最良の結果を得るためには、楽曲の実際のキー、そしてスケールと一致するように設定してください。

キーボードは自動的にアップデートされ、選択中のキーとスケールの選択でアクティブなノートを表示します。

楽曲のキーが分からない場合にはAuto-Keyプラグイン(別売)を使用して自動的に検出し、その情報をAuto-Tune Realtime Accessに送ることができます。

リチューンスピード



リチューンスピードを設定してAuto-Tune Realtime Accessがオーディオを目的のピッチにチューニングする速度を設定します。

わかりやすいAuto-Tune効果を得るには、リチューンスピードを高速 (Fast)に設定してください。ナチュラルなピッチ補正を行うには、中速 (Medium)、または低速 (Slow)に設定してください。

ヒューマナイズ



ヒューマナイズを使用すると、ピッチの微妙な変化を残すことができ、持続音などにリアリズムを加えることができます。

長い音の持続部分でのみ、遅めのリチューンスピードを適用します。持続音のピッチが不自然に聞こえる場合は、ヒューマナイズを最小、または最大に設定して、オリジナルの録音が持つ微妙なピッチのずれを再現します。

ピッチディスプレイ&ピッチチェンジメーター



ピッチディスプレイ

ピッチディスプレイディスプレイには、Auto-Tune Realtime Accessが出力しているピッチの文字が表示されます。

入力されたオーディオで検出されている音程を確認するには、**キーボード**の青くハイライトされたノートを確認してください。

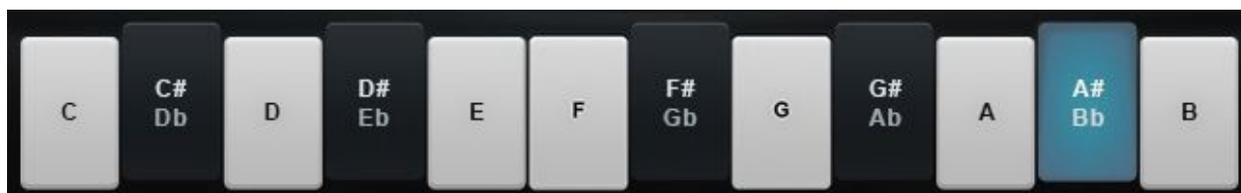
ピッチチェンジメーター

ピッチチェンジメーター (ピッチディスプレイを囲んでいるメーター) は、検出されたピッチがどれくらいチューニングされているかをセント単位で表示しています。

ホールド

ディスプレイ下の“ホールド”という文字をクリックしたままにすると、マウスボタンを押している間、ピッチチェンジメーターとキーボードの青色で検出されたピッチディスプレイの両方がフリーズします。

キーボード



キーボードは、検出されているピッチを青くハイライトします。また、スケールにノートを追加したり、削除したりすることも可能です。



キーボードのノートがオンの場合、白または黒で表示され(どのノート音符であるかによって異なります)、そのノートにもっとも近い入力ピッチがそのノートに合わせて調整されます。

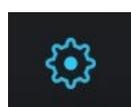


キーボードのノートがオフに設定されている場合、そのノートはグレーで表示され、そのノートにもっとも近い入力ピッチは、次に近いスケールのノートに調整されます。



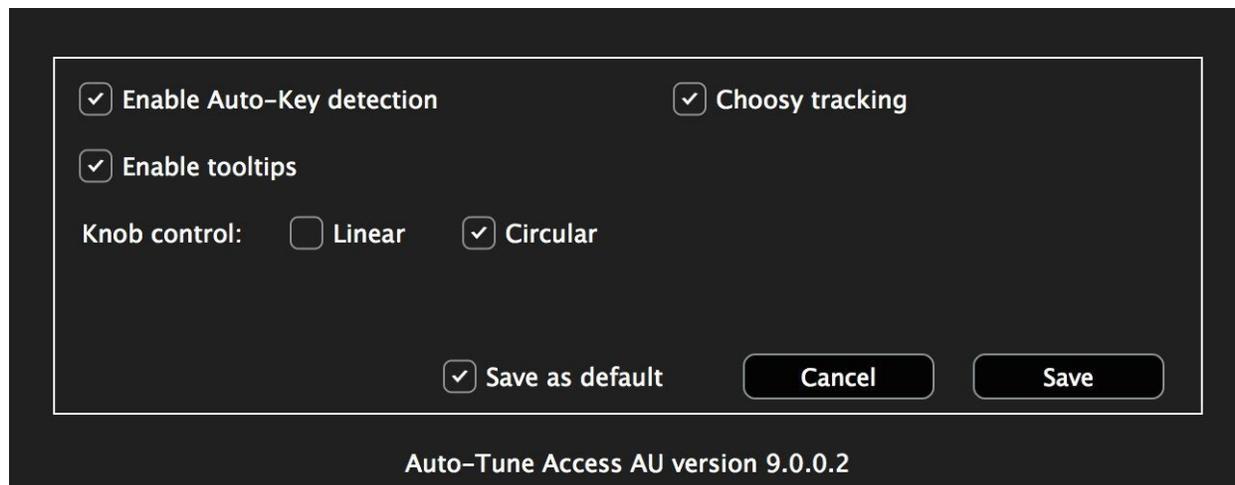
キーボードのノートが青色で表示されている場合は、現在検出されているピッチを示しています。

プリファレンスボタン



プリファレンスボタンをクリックすると、プリファレンスウィンドウが開き、デフォルトセッティングの設定を行うことができます。

プリファレンス



Enable Auto-Key Detection (自動キー検出を有効にする)

Auto-Keyは、楽曲キーを自動的に検出し、その情報をAuto-Tune Realtime Accessに送信するプラグイン(別売)です。これをオフにする必要があるのは、Auto-Keyを使用しているが、Auto-Tune RealtimeAccessのこの特定のインスタンスからのメッセージを無視する場合のみです。

Show Tooltips (ツールのヒントを表示する)

ツールのヒントは、Auto-Tune RealtimeAccessのコントロールの1つにカーソルを合わせるとそれに関するヒントをポップアップで表示します。それらを見たくない場合は、ここでオフにすることができます。

Choosy Tracking (トラッキングの選択)

ほとんどの場合、これはデフォルト設定の有効のままにしておく必要があります。オーディオにノイズが多いか、分離が不十分で、ピッチ補正の信頼性が低くなる場合は、無効にしてみてください。

Save as Default (デフォルトで保存)

セーブボタンをクリックする前にこのボックスをチェックして、Auto-Tune Realtime Access の新しいインスタンスのデフォルトセッティングを設定します。